

令和7年度第2回三重県農業大学校「就農チャレンジ研修」実施要領

1 研修の目的

UターンやIターン者又は県内在住者で転職して三重県内で農業を始めたい（本格的な農業経営を始めたい）と考えている方が、就農に必要な知識や国・県の就農支援策に関する情報を得て就農に向けて意欲をもって進めていただけるようにすることを目的に開催します。

加えて、農業大学校の養成課程（二年課程・一年課程）や研修課程で学べる内容を紹介し、就農に向けて農業大学校への入校や研修受講を検討されている方への個別相談を行い、就農に向けた進路決定の支援を行います。

2 研修の内容等

(1) 研修日程

令和8年1月31日（土） 就農関連情報講座 10:00～12:00
個別相談（※1） 13:00～16:00

（※1）午後の個別相談は、事前に「受講申込書」【様式1】の個別相談の希望に☑をつけた方のみを対象とします。

(2) 研修場所

三重県農業大学校2階大教室

(3) 研修内容

午前の部：就農関連情報講座（10:00～12:00）

- ・就農に向けての準備や支援制度等について
（三重県農林水産支援センター、三重県農林水産部担い手支援課
三重県中央農業改良普及センター）
- ・農業大学校で学ぶことができる内容等について
（三重県農業大学校教務課）

（※）具体的な研修内容は【別記1】のとおり

午後の部：個別相談（13:00～16:00）

- ・希望者に対する個別相談
対象者は、事前に「受講申込書」【様式1】の個別相談の希望に☑をつけた方のみを対象とします。

3 受講対象者

三重県内で本格的な農業経営を始めたい方（販売農家を目指して就農を希望される方、農業法人等への就職就農を希望される方）で18歳以上の者（令和8年4月1日時点）

（※）家庭菜園や趣味的農業の志望者は対象外とします。

4 受講料

無料

5 募集人員

20名程度

6 受講手続

(1) 申込期間

令和8年1月5日(月)～1月23日(金)

(2) 受講申込

上記(1)の申込期間中に「受講申込書」【様式1】を農業大学校農業ビジネス人材育成課まで郵送又はE-mail、FAXで提出してください。

E-mail、FAXで提出された場合は、必ず確認の電話を入れてください。

なお、「受講申込書」【様式1】は、農業大学校ホームページからダウンロードしていただくことができます。

- (※) インターネット環境がなく、当該様式の郵送を希望される場合には、110円切手を同封のうえ、封筒表書きに「就農チャレンジ研修受講申込書郵送要望」とご記入のうえ、お申し込みください。

(3) 受講決定等の通知

先着順に受付を行い、受講申込書の記載内容を確認のうえ、受講可否を決定します。

受講の許可を決定した方に対しては、事前に電話等で連絡を行い、その後受講許可通知書を郵送送付いたします。

7 研修に関する問い合わせ

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町530

三重県農業大学校農業ビジネス人材育成課

TEL 0598-42-1260 / FAX 0598-42-5835

E-mail nodai@pref.mie.lg.jp

附則

この要領は、令和7年12月25日から施行する。

【別記1】(就農関連情報講座) <1月31日(土): 午前の部>

担当機関	内容	開催場所	研修日程	定員	備考
農林水産支援センター	① 就農に向けてのプロセスについて	農業大学校 2階 大教室	1月31日 (土) 10:00~12:00	最大 20名 程度	講義形式での開催
農林水産部 担い手支援課	② 就農に関する支援制度について				
中央農業改良 普及センター	③ 普及センターの就農支援体制について				
農業大学校	④ 農業大学校で学べる内容について				

各専攻コースの概要



茶業コース

緑茶（普通せん茶、かぶせ茶など）を中心に、紅茶、烏龍茶まで幅広く栽培と製茶技術を習得します。



水田作コース

水稲、小麦、大豆、露地野菜等の栽培を中心に、農業機械の操作等を含む実践的な技術を習得します。



野菜コース

トマト、きゅうり、いちごの施設栽培を中心に、露地野菜も含め実践的な技術を習得します。



花きコース

切り花、鉢花、花木等の栽培を中心に実践的な技術を習得します。



果樹コース

なし、ぶどう、みかん、かき等の栽培を中心に実践的な技術を習得します。



畜産コース

酪農、肉牛の中から専門畜種を選択、各専門スタッフの指導により家畜の飼養技術、繁殖疾病管理、飼料生産、機械操作等の技術を習得します。